

(第2号様式)

八農第 2436 号
令和8年3月23日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立八重山農林高等学校
校長 山城 篤
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月22日	場所	校長室	出席状況	学校評議員5人中4名参加
第2回	日時	令和7年12月25日	場所	小会議室	出席状況	学校評議員5人中4名参加
第3回	日時	令和8年3月23日	場所	校長室	出席状況	学校評議員5人中5名参加

2 学校評議員に求めた事項

- ①今年度の学校経営方針に対する意見、助言等
- ②今年度の各部(総務、生徒支援、進路支援、学校保健関係、農場部)の目標に対する意見、感想等
- ③魅力ある学校づくりや生徒募集に関する意見、助言等
- ④教職員の資質向上に関する助言等
- ⑤令和6年度及び令和7年度の学校評価アンケートの結果を踏まえた意見、助言等
- ⑥新聞記事やで見る本校生徒の活躍や八重農だよりに関連した意見、感想等

3 学校評議員の意見

- ①自転車通学について、法改正に伴い道交法遵守を図る講演や講習が必要と思われる。
- ②八重農生の学習や地域連携等での活躍の報道(新聞やテレビ)は、大変素晴らしいものがある。
- ③将来の農業関係従事者育成のために、今後も先生方には地域の関係機関の人材を活用しながら生徒を育てて欲しい。
- ④学校説明会等での学寮の事について、もっと周知を図った方が良いのではないか。
- ⑤朝食を摂らないで登校している生徒は、午前中に勉強に集中できない状態ではないかと思われるので、対策等が必要ではないか。

4 学校運営に反映した事項

- ①自転車に関する道交法改正について講演会等を通して生徒に周知することができた。
- ②地域行事や連携の取組を通して、進路指導や「愛郷愛土」の精神づくりに取り組んでいる。
- ③地域人材を活用した民間活力導入事業や各種講演会、講習会、資格取得に取り組んでいる。また、地域の企業や関係機関と連携し、海外県外研修会への生徒派遣や学校開放に取り組んでいる。
- ④学寮の問題に関しては、島内の八重山高校や八重山商工高校とも連携協力し取り組んでいる。
- ⑤生徒の健康管理面において、朝食の欠食についても情報収集に取り組む必要性を感じている。

5 課題その他

- ①いじめ防止対応について、組織的な対応面で体制の整備強化を図る必要がある。
- ②多様な生徒への対応として、中途退学対策や個別の支援について研究を深める必要がある。
- ③働き方改革の更なる推進と、部活動や地域行事参加の継続方法について検討する必要がある。
- ④進路未決定者の割合が大きくなっているため、12年次からの進路対策の必要がある。